

配布先、安積75期生、恩師、同窓生、住所変更乞う連絡。葉書在庫無くなった御恵与下されたし

七五期

葉書きの同級会

▼横山豊⑦森村設計、お盆

に宿泊して葉書代おいてい
つたので直ぐ発行▼8月7

日付新聞によると伊藤正志

⑥は県労連議長に89年11月

結成以来6選された。組織

の傘下に百六十二組合、一

万五千四百九十人を抱える

少なく成った髪を振り乱し

東奔西走の毎日とか。▼秋

月弘一36期87才、県立安積

中を大正13年に卒業した同

窓生による同窓会が十月十

日に開かれた。ちようど米

寿に当たる年齢なので喜んで参加した。卒業当時は百七十人もいたが、集まった者は六人にすぎなかった。

出席者一同は元気でいることをお互いに喜び合った。

明治、大正、昭和、平成と

歩んできただけに話題も多く、思い出話に花が咲いた

。6人とも夫人が元気で、

「妻あつての今日だ」と話し合った。妻の陰の力に改めて感謝した次第です。六人のうちで最も丈夫だったのは現役の医者でした。来年も集まる事を誓い、散会した。(平成5年11月6日民報より転載)▼一人で宿

泊したいと言うお客様の電話を受けた。同級生だった。バイクで東京から来た。

しばらくぶりなので一緒に

飲みながら近況を聞いた。

平成3年に45才で奥さんに

先立たれた「と言うと、何

年生まれなの」聞いても答

えない。「墓にそう書いて

有るから(3年45才と)分

かるのだが、みんな辛い事

忘れてしまったよ」ぼそつ

と呟く。東京で高校教師を

している。「俺の人生も(

妻に先立たれて)変わった

よ。生徒が何をしても昔の

様に怒ったりしないんだ」

「お前の生き甲斐は」「今

日来たようにバイクで一人で出かけるんだ、以前なら家内の『バイクで危ないから出るな』と言う言葉がうるさかったがその言葉も無いと寂しいね。子供も居ないから、朝昼晩カボチャばかり食べる様な雑な生活しているよ」「若い嫁さん、貰う位の元気出せよ」「お前は家族が元気だからそんな事言うんだ。家内には感謝しているよ。後は絵でも描いて淡々と生きていくよ。その絵も脇で褒めてくれる人が居ないとな・・」俺の場合、家内に先立たれたら直ぐ後追いするもんね。